# 連立方程式 答えから作る① 右辺の□

中2／解を入れて 右辺の□を決める 4問

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

**きまり　解を 式に入れて 計算すると、右辺の□が わかる**

(1) 解の x と y を、□のある式に入れる
(2) 左辺を計算して、右辺の□に入る数を出す
(3) 出た数を □に書く。ひき算の式では 負の数（−）になることもある

れい　解 x = 2, y = 3 のとき　3x + 2y = □　→　3×2 + 2×3 = 12　だから □は 12

解が下のとおりになるように、右辺の□に入る数を書きましょう。
解の x と y を 式に入れて 計算し、□に数を書く。上の式を①、下の式を②とよぶ。

問1　**解　x = 3, y = 2**

$$\begin{cases} 5x + 5y = \square \\ 2x + 5y = \square \end{cases}$$

計算　解を入れて 計算して、□を出す

①

②

問2　**解　x = 4, y = 5**

$$\begin{cases} 3x - y = \square \\ x + y = \square \end{cases}$$

計算　解を入れて 計算して、□を出す

①

②

問3　**解　x = 2, y = 6**

$$\begin{cases} 3x - 2y = \square \\ 5x + 2y = \square \end{cases}$$

計算　解を入れて 計算して、□を出す

①

②

問4　**解　x = 5, y = 3**

$$\begin{cases} 4x + 3y = \square \\ x - 2y = \square \end{cases}$$

計算　解を入れて 計算して、□を出す

①

②

**見直し**　□ 解を ①② の両方に入れた　□ 計算を書いてから □に書いた　まちがい（　　）問

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「連立方程式」のプリント一覧がひらきます

# 連立方程式 答えから作る② 係数の□

中2／解を入れて 係数の□を逆算する 4問

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

**きまり　係数の□は、移項して 係数で割って 求める**

(1) 解を 式に入れ、□の項を 左に残して 他の項を 右辺へ移項する（符号が変わる）
(2) 両辺を □の相手（x か y の値）で割る。割る数が負なら 符号に注意
(3) できた式の 左辺に解を入れた値 = 右辺 を 確かめて ○をつける

れい　解 x = 2, y = 3 のとき　□x + 2y = 4　→　□×2 + 6 = 4　→　□×2 = −2　→　□ = −1

れい　解 x = 2, y = 3 のとき　x + □y = 5　→　2 + □×3 = 5　→　□×3 = 3　→　□ = 1

解が下のとおりになるように、係数の□に入る数を 求めましょう。
□の項を左に残して 移項し、係数で割る。できたら 解を入れて 確かめる。上を①、下を②とよぶ。

問1　**解　x = 2, y = 3**

$$\begin{cases} \square x - 4y = -8 \\ 2x + \square y = 13 \end{cases}$$

計算　□を求める計算（移項して 係数で割る）

①

②

確かめ ①

確かめ ②

問2　**解　x = 3, y = 4**

$$\begin{cases} 5x + \square y = -1 \\ \square x - 5y = -5 \end{cases}$$

計算　□を求める計算（移項して 係数で割る）

①

②

確かめ ①

確かめ ②

問3　**解　x = 4, y = 2**

$$\begin{cases} \square x - y = -18 \\ \square x - 4y = -4 \end{cases}$$

計算　□を求める計算（移項して 係数で割る）

①

②

確かめ ①

確かめ ②

問4　**解　x = 5, y = 2**

$$\begin{cases} 3x + \square y = 9 \\ 2x + \square y = 14 \end{cases}$$

計算　□を求める計算（移項して 係数で割る）

①

②

確かめ ①

確かめ ②

**見直し**　□ 移項で符号を変えた　□ 割る数の符号を見た　□ ①② で確かめた　まちがい（　　）問

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「連立方程式」のプリント一覧がひらきます

# 連立方程式 答えから作る③ □の位置がまざる

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中2／□が 係数のときと 右辺のときが まざる・解に負の数 4問　　ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

**きまり　□が 係数か 右辺か 見分けて、負の数は かっこをつけて 入れる**

(1) □が 係数か 右辺か を見分ける（式ごとに 1か所）
(2) 解を 入れる。負の数は （−2）のように かっこをつける
(3) 右辺の□は 計算するだけ。係数の□は 移項して割る。どの式も 最後に 左辺の値 = 右辺 を確かめる

れい　右辺の□　解 x = −2, y = 1　3x + y = □　→　3×(−2) + 1×1 = −5　だから □は −5

れい　係数の□　解 x = −2, y = 1　3x + □y = −5　→　3×(−2) + □×1 = −5　→　□ = 1

□が 係数のときと 右辺のときが あります。□の位置を 見分けて 数を書きましょう。
どの式も 解を入れて 右辺と同じか 確かめる。負の数は かっこをつける。上を①、下を②とよぶ。

問1　**解　x = −2, y = 4**

$$\begin{cases} \square x + 3y = 18 \\ 4x + y = \square \end{cases}$$

計算　□の位置を見て 解を入れ、□を求める

①

②

確かめ ①

確かめ ②

問2　**解　x = 3, y = −2**

$$\begin{cases} x + \square y = -5 \\ \square x + y = 7 \end{cases}$$

計算　□の位置を見て 解を入れ、□を求める

①

②

確かめ ①

確かめ ②

問3　**解　x = −3, y = −1**

$$\begin{cases} 3x + y = \square \\ 3x + \square y = -13 \end{cases}$$

計算　□の位置を見て 解を入れ、□を求める

①

②

確かめ ①

確かめ ②

問4　**解　x = −1, y = 3**

$$\begin{cases} x + \square y = -7 \\ x + 4y = \square \end{cases}$$

計算　□の位置を見て 解を入れ、□を求める

①

②

確かめ ①

確かめ ②

**見直し**　□ □の位置を先に見分けた　□ 負の数にかっこをつけた　□ どの式も 確かめた　まちがい（　　）問

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「連立方程式」のプリント一覧がひらきます

# 連立方程式 答えから作る④ 自分で作る

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中2／解が合う連立方程式を 自分で書く 3問

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

**きまり　自分で作る式は、3つの条件を 全部まもれば 正しい**

(1) 係数 a・b は 正の数 1〜5 の整数。ax + by = c の形で 書く
(2) ①② とも 解を入れて 右辺と同じになる（c は 解を入れて 計算して 決める）
(3) ② の x の係数・y の係数・右辺が、3つとも ① の同じ倍（1/2倍も）なら だめ

れい　解 x = 1, y = 2　→　① 2x + y = 4, ② x + 3y = 7　（どちらも 解を入れて 右辺と同じ）

だめなれい　2倍 ①2x + y = 4 ②4x + 2y = 8　　1/2倍 ①4x + 2y = 8 ②2x + y = 4
（2倍も 1/2倍も 解が1つに 決まらない）

だめなれい　① 6x + y = 8 は 解を満たすが、a が 6 で 1〜5 の外 だから だめ

解が下のとおりになる連立方程式を、自分で 作りましょう。
係数 a・b は 正の数 1〜5 の整数。② は ① の同じ倍（1/2倍も）にならないようにする。

問1　**解　x = 1, y = 4**　　係数は 正の数 1〜5　／　確かめ: 左辺の値 = 右辺

①

②

確かめ ①　＿＿＿＿＿＿＿＿　②　＿＿＿＿＿＿＿＿

□ 係数が 1〜5　□ ①② とも 解で成り立つ　□ ② は ① の同じ倍でない

問2　**解　x = −4, y = 2**　　係数は 正の数 1〜5　／　確かめ: 左辺の値 = 右辺

①

②

確かめ ①　＿＿＿＿＿＿＿＿　②　＿＿＿＿＿＿＿＿

□ 係数が 1〜5　□ ①② とも 解で成り立つ　□ ② は ① の同じ倍でない

問3　**解　x = 5, y = −3**　　係数は 正の数 1〜5　／　確かめ: 左辺の値 = 右辺

①

②

確かめ ①　＿＿＿＿＿＿＿＿　②　＿＿＿＿＿＿＿＿

□ 係数が 1〜5　□ ①② とも 解で成り立つ　□ ② は ① の同じ倍でない

**見直し**　□ 係数が 1〜5　□ ①② とも 解で確かめた　□ ② は ① の同じ倍でない　まちがい（　　）問

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「連立方程式」のプリント一覧がひらきます

# 連立方程式 答えから作る⑤ 解いて 戻ってくる

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中2／作った連立方程式を 解いて 最初の解に 戻る 2問

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

**きまり　作った式を 解いて 最初の解に 戻れば、その式は 正しい**

(1) 解を入れて 右辺が合うように、ax + by = c の形の 2式を作る（a・b は 正の数 1〜5）
(2) ② の x の係数・y の係数・右辺が 3つとも ① の同じ倍（1/2倍も）にならないようにする
(3) 加減法か 代入法で 解く。出た答えが 最初の解と 同じか 見くらべる（ちがったら 式を 見直す）

れい　解 x = 2, y = 1　① x + y = 3, ② 2x + y = 5　→　②−① x = 2　→　y = 1　もどった

だめなれい　① x + y = 3, ② x + 2y = 5 と作ると、解いて x = 1, y = 2 で もどらない

自分で作った連立方程式を、加減法か 代入法で 解きましょう。
解いて出た答えが、最初の解に もどるか 確かめる。もどらないときは 作った式を 見直す。

問1　**解　x = 3, y = 5**　まず ①② を作る　→　解いて　→　最初の解に 戻るか

①＿＿＿＿＿＿＿＿　②＿＿＿＿＿＿＿＿

解く　加減法か 代入法で（式を 1行ずつ 書く）

**x =** ＿＿　**y =** ＿＿　**最初の解と　同じ　・　ちがう**

問2　**解　x = −2, y = 1**　まず ①② を作る　→　解いて　→　最初の解に 戻るか

①＿＿＿＿＿＿＿＿　②＿＿＿＿＿＿＿＿

解く　加減法か 代入法で（式を 1行ずつ 書く）

**x =** ＿＿　**y =** ＿＿　**最初の解と　同じ　・　ちがう**

**見直し**　□ 作った式に 解を入れた　□ 解く計算を 書いた　□ 答えを 最初の解と くらべた　まちがい（　　）問

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「連立方程式」のプリント一覧がひらきます

# 連立方程式 答えから作る① 右辺の□【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中2／解を入れて 右辺の□を決める 4問

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

**きまり　解を 式に入れて 計算すると、右辺の□が わかる**

(1) 解の x と y を、□のある式に入れる
(2) 左辺を計算して、右辺の□に入る数を出す
(3) 出た数を □に書く。ひき算の式では 負の数（−）になることもある

れい　解 x = 2, y = 3 のとき　3x + 2y = □　→　3×2 + 2×3 = 12　だから □は 12

解が下のとおりになるように、右辺の□に入る数を書きましょう。
解の x と y を 式に入れて 計算し、□に数を書く。上の式を①、下の式を②とよぶ。

問1　**解　x = 3, y = 2**

$$\begin{cases} 5x + 5y = \boxed{25} \\ 2x + 5y = \boxed{16} \end{cases}$$

計算　解を入れて 計算して、□を出す

① 5×3 + 5×2

= 15 + 10 = 25　→　□ = 25

② 2×3 + 5×2

= 6 + 10 = 16　→　□ = 16

問2　**解　x = 4, y = 5**

$$\begin{cases} 3x - y = \boxed{7} \\ x + y = \boxed{9} \end{cases}$$

計算　解を入れて 計算して、□を出す

① 3×4 + (−1)×5

= 12 + (−5) = 7　→　□ = 7

② 1×4 + 1×5

= 4 + 5 = 9　→　□ = 9

問3　**解　x = 2, y = 6**

$$\begin{cases} 3x - 2y = \boxed{-6} \\ 5x + 2y = \boxed{22} \end{cases}$$

計算　解を入れて 計算して、□を出す

① 3×2 + (−2)×6

= 6 + (−12) = −6　→　□ = −6

② 5×2 + 2×6

= 10 + 12 = 22　→　□ = 22

問4　**解　x = 5, y = 3**

$$\begin{cases} 4x + 3y = \boxed{29} \\ x - 2y = \boxed{-1} \end{cases}$$

計算　解を入れて 計算して、□を出す

① 4×5 + 3×3

= 20 + 9 = 29　→　□ = 29

② 1×5 + (−2)×3

= 5 + (−6) = −1　→　□ = −1

**丸つけのめやす／つまずきやすいところ**

□は 解を入れて 計算した値。①② とも 解を入れて 右辺と同じになれば ○。負の数（−）が入る問題もある。
解を入れる場所（x と y）を 入れかえていないか。x に x の値、y に y の値を入れているかを 見る。

# 連立方程式 答えから作る② 係数の□【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中2／解を入れて 係数の□を逆算する 4問

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

**きまり　係数の□は、移項して 係数で割って 求める**

(1) 解を 式に入れ、□の項を 左に残して 他の項を 右辺へ移項する（符号が変わる）
(2) 両辺を □の相手（x か y の値）で割る。割る数が負なら 符号に注意
(3) できた式の 左辺に解を入れた値 = 右辺 を 確かめて ○をつける

れい　解 x = 2, y = 3 のとき　□x + 2y = 4 → □×2 + 6 = 4 → □×2 = −2 → □ = −1

れい　解 x = 2, y = 3 のとき　x + □y = 5 → 2 + □×3 = 5 → □×3 = 3 → □ = 1

解が下のとおりになるように、係数の□に入る数を 求めましょう。
□の項を左に残して 移項し、係数で割る。できたら 解を入れて 確かめる。上を①、下を②とよぶ。

問1　**解 x = 2, y = 3**

$$\begin{cases} \boxed{2}x - 4y = -8 \\ 2x + \boxed{3}y = 13 \end{cases}$$

計算　□を求める計算（移項して 係数で割る）

① x の係数: □×2 = −8 − (−12) = 4

□ = 4 ÷ 2 = 2　→ 2x − 4y = −8

② y の係数: □×3 = 13 − 4 = 9

□ = 9 ÷ 3 = 3　→ 2x + 3y = 13

確かめ ①　**2×2 + (−4)×3 = −8** ○

確かめ ②　**2×2 + 3×3 = 13** ○

問2　**解 x = 3, y = 4**

$$\begin{cases} 5x + \boxed{-4}y = -1 \\ \boxed{5}x - 5y = -5 \end{cases}$$

計算　□を求める計算（移項して 係数で割る）

① y の係数: □×4 = −1 − 15 = −16

□ = −16 ÷ 4 = −4　→ 5x − 4y = −1

② x の係数: □×3 = −5 − (−20) = 15

□ = 15 ÷ 3 = 5　→ 5x − 5y = −5

確かめ ①　**5×3 + (−4)×4 = −1** ○

確かめ ②　**5×3 + (−5)×4 = −5** ○

問3　**解 x = 4, y = 2**

$$\begin{cases} \boxed{-4}x - y = -18 \\ \boxed{1}x - 4y = -4 \end{cases}$$

計算　□を求める計算（移項して 係数で割る）

① x の係数: □×4 = −18 − (−2) = −16

□ = −16 ÷ 4 = −4　→ −4x − y = −18

② x の係数: □×4 = −4 − (−8) = 4

□ = 4 ÷ 4 = 1　→ x − 4y = −4

確かめ ①　**(−4)×4 + (−1)×2 = −18** ○

確かめ ②　**1×4 + (−4)×2 = −4** ○

問4　**解 x = 5, y = 2**

$$\begin{cases} 3x + \boxed{-3}y = 9 \\ 2x + \boxed{2}y = 14 \end{cases}$$

計算　□を求める計算（移項して 係数で割る）

① y の係数: □×2 = 9 − 15 = −6

□ = −6 ÷ 2 = −3　→ 3x − 3y = 9

② y の係数: □×2 = 14 − 10 = 4

□ = 4 ÷ 2 = 2　→ 2x + 2y = 14

確かめ ①　**3×5 + (−3)×2 = 9** ○

確かめ ②　**2×5 + 2×2 = 14** ○

**丸つけのめやす／つまずきやすいところ**

係数の□は 移項してから割る。移項で 符号が変わる。負の数で割るときは 同符号なら正、異符号なら負。
確かめは 「できた式の左辺に解を入れた値 = 右辺」を書いて ○。①② とも 一致していれば ○。

# 連立方程式 答えから作る③ □の位置がまざる【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中2／□が 係数のときと 右辺のときが まざる・解に負の数 4問　　ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

**きまり　□が 係数か 右辺か 見分けて、負の数は かっこをつけて 入れる**

(1) □が 係数か 右辺か を見分ける（式ごとに 1か所）
(2) 解を 入れる。負の数は （−2）のように かっこをつける
(3) 右辺の□は 計算するだけ。係数の□は 移項して割る。どの式も 最後に 左辺の値 = 右辺 を確かめる

れい　右辺の□　解 x = −2, y = 1　3x + y = □　→　3×(−2) + 1×1 = −5　だから □は −5

れい　係数の□　解 x = −2, y = 1　3x + □y = −5　→　3×(−2) + □×1 = −5　→　□ = 1

□が 係数のときと 右辺のときが あります。□の位置を 見分けて 数を書きましょう。
どの式も 解を入れて 右辺と同じか 確かめる。負の数は かっこをつける。上を①、下を②とよぶ。

問1　**解　x = −2, y = 4**

$$\begin{cases} \boxed{-3}x + 3y = 18 \\ 4x + y = \boxed{-4} \end{cases}$$

計算　□の位置を見て 解を入れ、□を求める

① x の係数: □×(−2) = 18 − 12 = 6

□ = 6 ÷ (−2) = −3　→ −3x + 3y = 18

② 4×(−2) + 1×4

= −8 + 4 = −4　→　□ = −4

確かめ ①　**(−3)×(−2) + 3×4 = 18** ○

確かめ ②　**4×(−2) + 1×4 = −4** ○

問2　**解　x = 3, y = −2**

$$\begin{cases} x + \boxed{4}y = -5 \\ \boxed{3}x + y = 7 \end{cases}$$

計算　□の位置を見て 解を入れ、□を求める

① y の係数: □×(−2) = −5 − 3 = −8

□ = −8 ÷ (−2) = 4　→ x + 4y = −5

② x の係数: □×3 = 7 − (−2) = 9

□ = 9 ÷ 3 = 3　→ 3x + y = 7

確かめ ①　**1×3 + 4×(−2) = −5** ○

確かめ ②　**3×3 + 1×(−2) = 7** ○

問3　**解　x = −3, y = −1**

$$\begin{cases} 3x + y = \boxed{-10} \\ 3x + \boxed{4}y = -13 \end{cases}$$

計算　□の位置を見て 解を入れ、□を求める

① 3×(−3) + 1×(−1)

= −9 + (−1) = −10　→　□ = −10

② y の係数: □×(−1) = −13 − (−9) = −4

□ = −4 ÷ (−1) = 4　→ 3x + 4y = −13

確かめ ①　**3×(−3) + 1×(−1) = −10** ○

確かめ ②　**3×(−3) + 4×(−1) = −13** ○

問4　**解　x = −1, y = 3**

$$\begin{cases} x + \boxed{-2}y = -7 \\ x + 4y = \boxed{11} \end{cases}$$

計算　□の位置を見て 解を入れ、□を求める

① y の係数: □×3 = −7 − (−1) = −6

□ = −6 ÷ 3 = −2　→ x − 2y = −7

② 1×(−1) + 4×3

= −1 + 12 = 11　→　□ = 11

確かめ ①　**1×(−1) + (−2)×3 = −7** ○

確かめ ②　**1×(−1) + 4×3 = 11** ○

**丸つけのめやす／つまずきやすいところ**

□が 係数か 右辺かで 求め方が変わる。右辺の□は 計算するだけ、係数の□は 移項して割る。どの式も 最後に 確かめる。
解の負の数を かっこなしで入れると 符号を まちがえやすい（3×−2 と 3×(−2)）。式の書き方を 見て 確かめる。

# 連立方程式 答えから作る④ 自分で作る【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中2／解が合う連立方程式を 自分で書く 3問

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

**きまり　自分で作る式は、3つの条件を 全部まもれば 正しい**

(1) 係数 a・b は 正の数 1〜5 の整数。ax + by = c の形で 書く
(2) ①② とも 解を入れて 右辺と同じになる（c は 解を入れて 計算して 決める）
(3) ② の x の係数・y の係数・右辺が、3つとも ① の同じ倍（1/2倍も）なら だめ

れい　解 x = 1, y = 2　→　① 2x + y = 4, ② x + 3y = 7　（どちらも 解を入れて 右辺と同じ）
だめなれい　2倍 ①2x + y = 4 ②4x + 2y = 8　　1/2倍 ①4x + 2y = 8 ②2x + y = 4
（2倍も 1/2倍も 解が1つに 決まらない）
だめなれい　① 6x + y = 8 は 解を満たすが、a が 6 で 1〜5 の外 だから だめ

解が下のとおりになる連立方程式を、自分で 作りましょう。
係数 a・b は 正の数 1〜5 の整数。② は ① の同じ倍（1/2倍も）にならないようにする。

問1　**解　x = 1, y = 4**　係数は 正の数 1〜5　／　確かめ: 左辺の値 = 右辺　**（れい）**

① **5x + 3y = 17**

② **5x + 2y = 13**

確かめ ① **5×1 + 3×4 = 17** ○　② **5×1 + 2×4 = 13** ○

□ 係数が 1〜5　□ ①② とも 解で成り立つ　□ ② は ① の同じ倍でない

問2　**解　x = −4, y = 2**　係数は 正の数 1〜5　／　確かめ: 左辺の値 = 右辺　**（れい）**

① **3x + y = −10**

② **2x + 2y = −4**

確かめ ① **3×(−4) + 1×2 = −10** ○　② **2×(−4) + 2×2 = −4** ○

□ 係数が 1〜5　□ ①② とも 解で成り立つ　□ ② は ① の同じ倍でない

問3　**解　x = 5, y = −3**　係数は 正の数 1〜5　／　確かめ: 左辺の値 = 右辺　**（れい）**

① **5x + 5y = 10**

② **5x + 2y = 19**

確かめ ① **5×5 + 5×(−3) = 10** ○　② **5×5 + 2×(−3) = 19** ○

□ 係数が 1〜5　□ ①② とも 解で成り立つ　□ ② は ① の同じ倍でない

**丸つけのめやす／つまずきやすいところ**
採点: ①② とも 解を入れて 右辺と一致／係数 a・b が 1〜5／② が ① の同じ倍（1/2倍も）でない、の3つ全部で ○。式は一例。
どれか1つ欠けたら △。② を ① の2倍（1/2倍）にすると 解が1つに決まらない。② を作ったあと 解に入れて 確かめる。

**連立方程式 答えから作る⑤ 解いて 戻ってくる【こたえ】**　　なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中2／作った連立方程式を 解いて 最初の解に 戻る 2問　　ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

**きまり　作った式を 解いて 最初の解に 戻れば、その式は 正しい**

(1) 解を入れて 右辺が合うように、ax + by = c の形の 2式を作る（a・b は 正の数 1〜5）
(2) ② の x の係数・y の係数・右辺が 3つとも ① の同じ倍（1/2倍も）にならないようにする
(3) 加減法か 代入法で 解く。出た答えが 最初の解と 同じか 見くらべる（ちがったら 式を 見直す）

れい　解 x = 2, y = 1　① x + y = 3, ② 2x + y = 5　→　②−① x = 2　→　y = 1　もどった

だめなれい　① x + y = 3, ② x + 2y = 5 と作ると、解いて x = 1, y = 2 で もどらない

自分で作った連立方程式を、加減法か 代入法で 解きましょう。
解いて出た答えが、最初の解に もどるか 確かめる。もどらないときは 作った式を 見直す。

問1　**解　x = 3, y = 5**　　まず ①② を作る　→　解いて　→　最初の解に 戻るか　**（れい）**

① **3x + 3y = 24**　　② **3x + y = 14**

解く　加減法か 代入法で（式を 1行ずつ 書く）

①−②　2y = 10　y = 5　→　x = 3

→　x = 3, y = 5　（最初の解と 同じ）

**x =** 3　　**y =** 5　　**最初の解と** (**同じ**) **・ ちがう**

問2　**解　x = −2, y = 1**　　まず ①② を作る　→　解いて　→　最初の解に 戻るか　**（れい）**

① **4x + 3y = −5**　　② **3x + y = −5**

解く　加減法か 代入法で（式を 1行ずつ 書く）

①−(②×3)　−5x = 10　x = −2　→　y = 1

→　x = −2, y = 1　（最初の解と 同じ）

**x =** −2　　**y =** 1　　**最初の解と** (**同じ**) **・ ちがう**

**丸つけのめやす／つまずきやすいところ**

採点: 式が解を満たし 係数が1〜5 ② が ① の同じ倍でない。答えが 最初の解と 同じなら ○（式・解き方は 一例）。
答えが もどらないのは、作った式が 解を満たしていないか、解く計算の まちがい。作った式に 解を入れて 先に 見分ける。

いちごドリル プリント